

平成 25 年 4 月 8 日

(印 章 省 略)

関係者各位

宮城県サポートセンター支援事務所  
所 長 鈴木 守幸

平成 25 年度 宮城県被災者支援従事者研修について (案内)

本事務所の運営につきましては、日頃より格別の御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

このたび、「平成 25 年度 宮城県被災者支援従事者研修 基礎研修」を開催する運びとなりました。

本研修は、被災者支援に従事するにあたり、初任者が基本的な知識や実践の方法、コミュニケーションのスキル等を身に着けることを目的としております。また、被災者支援にあたる者同士の相互理解も狙いとして、受講対象をサポートセンター職員や生活支援相談員等に限定せず、地域包括支援センター職員や民生委員、仮設住宅支援に従事する NPO 職員等の参加も受付いたします。

研修事業につきましては、当センターの協力団体である特定非営利活動法人 全国コミュニティライフサポートセンターが宮城県より事業委託を受け、運営を担当しております。

詳細につきましては、別紙「開催要綱」等をご参照の上、「受講申込書」・「事前資料」に必要事項を記入いただき、下記宛て申込みをお願い申し上げます。

記

- 1 申込先:特定非営利活動法人 全国コミュニティライフサポートセンター (CLC)  
F A X : 022-727-8737 E-mail : clc@clc-japan.com
- 2 申込締切 : 4 月 16 日 (火)

特定非営利活動法人全国コミュニティライフサポートセンター (CLC) 電 話 : 022-727-8730 担 当 : 高木、伊藤
---

## 平成 25 年度 宮城県被災者支援従事者研修 開催要綱

1. 研修名称 平成 25 年度 宮城県被災者支援従事者研修 基礎研修
2. 趣 旨 被災者支援業務に従事するにあたり、身に着けておくべき、被災者とのコミュニケーションや個別支援、地域支援の知識・実践の方法、現場での心構えなどを、演習を通じて学ぶことを目的とする。
3. 主 催 宮城県サポートセンター支援事務所
4. 運 営 特定非営利活動法人 全国コミュニティライフサポートセンター（CLC）
5. 開催日時・会場
  - 名取会場：平成 25 年 4 月 22 日（月）～24 日（水）  
仙台法務局 名取出張所 3 階 〒981-1224 宮城県名取市増田児柳田 570-2  
TEL：022-383-6238
  - 石巻会場：平成 25 年 5 月 7 日（火）～9 日（木）  
明友館 2 階 第 2・第 3 講習室 〒986-0017 宮城県石巻市不動町二丁目 16-10  
TEL：0225-23-3911
7. 対 象 サポートセンター職員、市町村職員、社会福祉協議会職員  
生活支援相談員、生活相談員（LSA）、復興支援コーディネーター  
地域包括支援センター職員、民生委員  
仮設住宅（みなし仮設含む）支援に従事する NPO 職員等
8. 定 員 50 名  
※定員以上の申込を頂いた場合、申し訳ございませんが、サポートセンター職員、生活支援相談員等、被災者支援業務で雇用された方を優先させていただきます。ご了承ください。
9. 参加申込
  - 1) 参加費 無料
  - 2) 申込期限 4 月 16 日（火）
  - 3) 申込方法 別紙参加申込書により、お申込みください。
10. お問い合わせ  
特定非営利活動法人 全国コミュニティライフサポートセンター（CLC）  
電話：022 - 727 - 8730 （担当：高木、伊藤）  
E - Mail：clc@clc-japan.com

# 平成25年度 宮城県被災者支援従事者研修 基礎研修

## 研修内容

ねらい

被災者支援業務に関する基礎知識を学び、期待される役割（個別支援と地域支援）について理解する。また、演習（グループワーク）を通じて、被災者との信頼関係の構築と実態把握の方法や、コミュニティづくりにおける交流サロンの運営等の地域福祉活動の実践ノウハウ、基礎知識とコミュニケーション能力を身に着ける。

### 【第1日目】講義と演習

時間	内容
9:30～10:00	開会・あいさつ・オリエンテーション
10:00～12:30	1 限目 「サポーター活動の理念と目的・役割」 「被災者の暮らしの変遷と生活課題」
13:30～15:50	2 限目 「援護を要する被災者の理解」
16:00～16:30	研修1日目の振り返り

### 【第2日目】講義と演習

時間	内容
9:30～12:30	1 限目 「被災者との信頼関係の構築と実態把握の方法」
13:30～16:00	2 限目 「地域福祉活動の理解」 「入居者主体の集会所運営とふれあい交流活動の方法」
16:00～16:30	研修2日目の振り返り

### 【第3日目】講義と演習

時間	内容
9:30～12:00	1 限目・2 限目 「住民による見守り・支え合い活動の方法」
13:00～15:00	「住民と専門職との協働による地域生活支援の方法」
15:10～16:30	研修の振り返りとまとめ 「これからの活動に向けて」

※1. 演習等のプログラムにおいては、休憩を適時とらせていただきます。

※2. 講義科目・時間配分については、若干変更する場合がありますのでご了承ください。

平成 25 年 7 月 3 日

関 係 各 位

宮城県サポートセンター支援事務所  
所 長 鈴木 守幸  
(印 章 省 略)

平成 25 年度 宮城県被災者支援従事者研修について（日程変更のご案内）

本事務所の運営につきましては、日頃より格別の御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

今回、ご案内しておりました「平成 25 年度 宮城県被災者支援従事者研修 分野別研修 I 石巻会場」の日程を諸事情により変更させて頂く事となりました。

研修の参加に向け、支援員の派遣調整、並びに関係機関への周知・参加につきましてご協力いただきました皆さまには、大変ご迷惑をお掛けいたしました。心よりお詫び申し上げます。

下記のとおり、日程変更いたしましたのでご確認のうえ、「受講申込書」に必要事項をご記入いただき、下記宛にお申込みをお願い申し上げます。

#### 記

- 1 日程変更：(変更前)石巻研修① 平成 25 年 6 月 26 日(水)  
石巻研修② 平成 25 年 7 月 1 日(月)

(変更後)石巻研修① 平成 25 年 7 月 31 日(水)  
石巻研修② 平成 25 年 8 月 23 日(金)

◇会場：明友館 2 階 第 2・第 3 講習室

〒986-0017 宮城県石巻市不動町 2 丁目 16-10 TEL：0225-23-3911

※尚、気仙沼会場につきましては、当初の予定通り 7 月 17 日(水)に気仙沼保健福祉事務所に  
て開催致します。

- 2 申 込 先：特定非営利活動法人 全国コミュニティライフサポートセンター  
(CLC)

F A X：022-727-8737 E-mail：clc@clc-japan.com

- 3 申込締切：7 月 25 日(木)

全国コミュニティライフサポートセンター (CLC)  
仙台市青葉区木町 16-30 シンエイ木町ビル 1F  
電 話：022-727-8730  
担 当：高木、伊藤

## 平成25年度 宮城県被災者支援従事者研修 分野別研修Ⅰ 研修内容

ねらい

各分野における基本的な用語、制度等を理解し、課題解決にむけた知識を学ぶ。  
つなぎ先としての専門機関や専門職の存在を把握し、適切なケースで活用できることを目的とする。

### 【講義と演習】

時 間	内 容
9:30～12:00	1 限目 「情報交換会」 ～みんなで話そう!! つながろう!!～
13:00～14:30	2 限目 「震災後の子どもの現状と子ども・家族への支援」
14:45～16:15	3 限目 「支援を必要とする人を支える様々な機関とのつなぎ方」
16:15～16:30	まとめ ふりかえり

※1. 演習等のプログラムにおいては、休憩を適時とらせていただきます。

※2. 時間配分については、若干変更する場合がありますのでご了承ください。

平成 24 年 5 月 27 日  
(印 章 省 略)

関 係 各 位

宮城県サポートセンター支援事務所  
所 長 鈴木 守幸

平成 25 年度 宮城県被災者支援従事者研修について (案内)

本事務所の運営につきましては、日頃より格別の御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

今回、「平成 25 年度 宮城県被災者支援従事者研修 ステップアップ研修 I」を仙台市にて開催する運びとなりました。

本研修は、被災者支援業務に従事する支援員への日常業務の実践力を高めること（分野別ではなく暮らしを捉える/自ら声をあげられない住民への支援など）と、支援員が抱える対応事例をもとに実践的な理解を図ることを目的としております。

また、今年度の研修事業につきましては、当センターの協力団体である特定非営利活動法人 全国コミュニティライフサポートセンターが宮城県より事業委託を受け、運営を担当しております。

別紙「開催要綱」等にて詳細をご確認のうえ、「受講申込書」「事前資料」に必要な事項をご記入いただき、下記宛にお申込みをお願い申し上げます。

#### 記

- 1 申込先:特定非営利活動法人 全国コミュニティライフサポートセンター (CLC)  
F A X : 022-727-8737 E-mail : clc@clc-japan.com
- 2 申込締切 : ①名取会場 7月 16日 (火)  
②石巻会場 8月 1日 (木)

全国コミュニティライフサポートセンター (CLC) 仙台市青葉区木町 16-30 シンエイ木町ビル 1F 電 話 : 022-727-8730 担 当 : 高木、伊藤
--

## 平成 25 年度 宮城県被災者支援従事者研修 開催要綱

1. 研修名称 平成 25 年度 宮城県被災者支援従事者研修 ステップアップ研修 I
2. 趣 旨 被災者支援業務に従事する支援員が抱える、ゴミ屋敷、近隣トラブル、アルコール依存などの具体的な事例をもとに、日常業務の実践力を高めることをねらいとする。
3. 主 催 宮城県サポートセンター支援事務所
4. 運 営 特定非営利活動法人 全国コミュニティライフサポートセンター (CLC)
5. 開催日程 **■名取研修 平成 25 年 7 月 23 日(火)～24 日(水)**  
◇会場：仙台法務局 名取出張所 2 階 会議室 2  
〒981-1224 宮城県名取市増田児柳田 570-2  
TEL : 022-383-6238  
  
**■石巻研修 平成 25 年 8 月 8 日(木)～9 日(金)**  
◇会場：明友館 2 階 第 2・第 3 講習室  
〒986-0017 宮城県石巻市不動町 2 丁目 16-10  
TEL : 0225-24-8502
6. 対 象 23 年度、24 年度、25 年度 基礎研修を受講したサポーター
7. 定 員 50 人  
※定員以上の申込を頂いた場合、申し訳ございませんが、サポートセンター職員、生活支援相談員等、被災者支援業務で雇用された方を優先させて頂きます。ご了承ください。
8. 参加申込
  - 1) 参加費 無料
  - 2) 申込期限 ①名取会場 7 月 16 日(火)  
②石巻会場 8 月 1 日(木)
  - 3) 申込方法 別紙参加申込書・事前資料をご記入の上、お申込みください。
9. お問い合わせ  
特定非営利活動法人 全国コミュニティライフサポートセンター (CLC)  
TEL : 022-727-8730 E - Mail : clc@clc-japan.com (担当 : 高木、伊藤)

# 平成25年度 宮城県被災者支援従事者研修 ステップアップ研修 I

## 研修内容

ねらい

被災者支援業務に従事する支援員が抱える、ゴミ屋敷、近隣トラブル、アルコール依存などの具体的な事例をもとに、日常業務の実践力を高めることをねらいとする。

### 【第1日目】講義と演習

時間	内容
9:30~9:45	開会・あいさつ・オリエンテーション
9:45~11:15	1 限目 「ワークショップ ワールドカフェ 課題を出し合おう」
11:15~12:00	2 限目 「支援の理念の理解」
13:00~14:20	3 限目 「事例を深く理解するための視点と方法の理解」
14:30~15:15	4 時限目 「事例を深めてみましょう」①
15:15~16:15	5 時限目 「事例を深めてみましょう」②
16:25~17:00	1 日目のふりかえり

### 【第2日目】講義と演習

時間	内容
9:30~11:00	1 限目 「支援の展開力を高めるための事例検討の方法理解」
11:10~12:00	2 限目 「事例検討 1」
13:00~15:50	2 限目 「事例検討 2」
15:50~16:30	3 限目 「明日からの目標を立てる」

※1. 演習等のプログラムにおいては、休憩を適時とらせていただきます。

※2. 時間配分については、若干変更する場合がありますのでご了承ください。



平成 25 年 9 月 4 日

関 係 各 位

宮城県サポートセンター支援事務所  
所 長 鈴木 守幸  
(印 章 省 略)

平成 25 年度 宮城県被災者支援従事者研修について (案内)

本事務所の運営につきましては、日頃より格別の御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

今回、「平成 25 年度 宮城県被災者支援従事者研修 分野別研修Ⅱ」を開催する運びとなりました。

本研修は、各分野における基本的な用語、知識、制度等を理解する事や、つなぎ先としての専門機関や専門職を知り、活用できることを目的としております。

また、今年度の研修事業につきましては、当センターの協力団体である特定非営利活動法人 全国コミュニティライフサポートセンターが宮城県より事業委託を受け、運営を担当しております。

別紙「開催要綱」等にて詳細をご確認のうえ、「受講申込書」に必要事項をご記入いただき、下記宛にお申込みをお願い申し上げます。

#### 記

- 1 申込先:特定非営利活動法人 全国コミュニティライフサポートセンター(CLC)  
F A X : 022-727-8737 E-mail : clc@clc-japan.com
- 2 申込締切 : ①気仙沼会場 9月12日(木)  
②仙台会場 9月24日(火)  
③石巻会場 10月8日(火)  
④石巻会場 10月22日(火)

全国コミュニティライフサポートセンター (CLC)  
仙台市青葉区木町 16-30 シンエイ木町ビル 1F  
電 話 : 022-727-8730  
担 当 : 高木、伊藤、永坂

# 平成25年度 宮城県被災者支援従事者研修 開催要綱

1. 研修名称 平成25年度 宮城県被災者支援従事者研修 分野別研修Ⅱ
2. 趣 旨 各分野における基本的な用語、制度等を理解し、課題解決にむけた知識を学ぶ。  
つなぎ先としての専門機関や専門職の存在を把握し、適切なケースで活用できることを目的とする。
3. 主 催 宮城県サポートセンター支援事務所
4. 運 営 特定非営利活動法人 全国コミュニティライフサポートセンター (CLC)
5. 開催日程 **■気仙沼研修 平成25年 9月19日(木)**  
◇会場：宮城県気仙沼保険福祉事務所 2階 大会議室  
〒988-0066 宮城県気仙沼市東新城3丁目3-3  
TEL：0226-22-6661  
**■仙台研修 平成25年 10月1日(火)**  
◇会場：戦災復興記念館 4階 第2会議室  
〒980-0804 宮城県仙台市青葉区大町2丁目12-1  
TEL：022-263-6931  
**■石巻研修① 平成25年 10月15日(火)**  
**■石巻研修② 平成25年 10月29日(火)**  
◇会場：石巻市ささえあい総括センター 会議室  
〒986-0017 宮城県石巻市不動町2丁目18番  
TEL：0225-23-3911
6. 対 象 サポートセンター職員、市町村職員、社会福祉協議会職員  
生活支援相談員、生活相談員 (LSA)、復興支援コーディネーター  
地域包括支援センター職員、民生委員  
仮設住宅 (みなし仮設含む) 支援に従事する NPO 職員等
7. 定 員 60人  
※定員以上の申込を頂いた場合、申し訳ございませんが、サポートセンター職員、生活支援相談員等、被災者支援業務で雇用された方を優先させて頂きます。ご了承ください。
8. 参加申込
  - 1) 参加費 無料
  - 2) 申込期限 

① 気仙沼会場	9月 12日(木)
② 仙台会場	9月 24日(火)
③ 石巻会場	10月 8日(火)
④ 石巻会場	10月 22日(火)
  - 3) 申込方法 別紙参加申込書をご記入の上、お申込みください。
9. お問い合わせ 特定非営利活動法人 全国コミュニティライフサポートセンター (CLC)  
TEL：022-727-8730 E-Mail：clc@clc-japan.com (担当：高木、伊藤、永坂)

## 平成25年度 宮城県被災者支援従事者研修 分野別研修Ⅱ 研修内容

ねらい

各分野における基本的な用語、制度等を理解し、課題解決にむけた知識を学ぶ。  
つなぎ先としての専門機関や専門職の存在を把握し、適切なケースで活用できることを目的とする。

### 【講義と演習】

時 間	内 容
9:30～10:10	1 限目 「情報交換会」 ～みんなで話そう!! つながろう!!～
10:10～12:30	2 限目 「精神障がいを抱える方への支援」
13:30～16:00	3 限目 「アルコール依存の人への支援」
16:10～16:30	まとめ ふりかえり

※1. 演習等のプログラムにおいては、休憩を適時とらせていただきます。

※2. 時間配分については、若干変更する場合がありますのでご了承ください。

平成 25 年 9 月 2 日

関 係 各 位

宮城県サポートセンター支援事務所  
所 長 鈴木 守幸  
( 印 章 省 略 )

平成 25 年度 宮城県被災者支援従事者研修について (案内)

本事務所の運営につきましては、日頃より格別の御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

今回、「平成 25 年度 宮城県被災者支援従事者研修 スーパーバイザー研修」を開催する運びとなりました。

本研修は、被災者支援業務に従事する支援員への支援の基礎的理解（支援員への共感的理解・教育・指示・相談など）と、支援員が抱える対応困難事例への助言の指導を行うための管理・監督の立場にある職員として求められるスーパーバイズや復興期に向けた組織内マネジメントを身に着けることを目的としております。

また、今年度の研修事業につきましては、当センターの協力団体である特定非営利活動法人 全国コミュニティライフサポートセンターが宮城県より事業委託を受け、運営を担当しております。

別紙「開催要綱」等にて詳細をご確認のうえ、「受講申込書」に必要事項をご記入いただき、下記宛にお申込みをお願い申し上げます。

#### 記

- 1 申込先：特定非営利活動法人 全国コミュニティライフサポートセンター  
(CLC)  
F A X : 022-727-8737 E-mail : clc@clc-japan.com
- 2 申込締切：9月27日（金）

全国コミュニティライフサポートセンター (CLC) 仙台市青葉区木町 16-30 シンエイ木町ビル 1F 電 話 : 022-727-8730 担 当 : 伊藤、永坂
--

## 平成25年度 宮城県被災者支援従事者研修 開催要綱

1. 研修名称 平成25年度 宮城県被災者支援従事者研修 スーパーバイザー研修
2. 趣旨 被災者支援業務に従事する現場支援員の業務を、実践事例をとおして理解するとともに、支援員の業務をマネジメントする管理者としての、スーパービジョン機能や復興期に向けた組織内マネジメントを学ぶことを目的に開催する。
3. 主催 宮城県サポートセンター支援事務所
4. 運営 特定非営利活動法人 全国コミュニティライフサポートセンター（CLC）
5. 開催日程
  - 仙台会場 平成25年10月4日（金）9:30～17:00  
◇仙台市戦災復興記念館 4階 第2会議室  
〒980-0804 仙台市青葉区大町二丁目12番1号  
TEL：022-263-6931
  
  - 石巻会場 平成25年10月7日（月）9:30～17:00  
◇会場：石巻市ささえあい総括センター 会議室  
〒986-0017 宮城県石巻市不動町2丁目16-10  
TEL：0225-23-3911
6. 対象 市町行政及び社会福祉協議会、並びにサポートセンターの運営を受託する事業者の課長及び事務局長並びに代表に相当する職員、またはそれに準ずる職員
7. 定員 24人
8. 参加申込
  - 1) 参加費 無料
  - 2) 申込期限 9月27日（金）
  - 3) 申込方法 別紙参加申込書により、お申込みください。
9. お問い合わせ  
特定非営利活動法人 全国コミュニティライフサポートセンター（CLC）  
電話：022-727-8730 （担当：伊藤、永坂）  
E-Mail：clc@clc-japan.com

**10月4日(金) 仙台会場 研修日程**  
**会場:戦災復興記念館 4階第2会議室**

【講義と演習】

時 間	内 容	講 師
9:30~9:35	開会・あいさつ・オリエンテーション	
9:35~10:00	行政説明 「復興期に向けた支援体制」	宮城県 社会福祉課 長寿社会政策課
10:00~12:10	1時限 ◇ステップ1 「業務としてのスーパーバイザー」 2時限 ◇ステップ2 「つなぐ支援を念頭においた スーパーバイザーの役割」	白百合女子大学 人間学部 教授 大坂 純
12:10~13:00	昼食・休憩	
13:00~13:40	3時限 「サポートセンターや生活支援相談員等の 現状と今後の役割」	
13:50~15:20	4時限 ◇ステップ3 「マネジメント業務の振り返りと スーパービジョン機能」 ◇ステップ4 「マネージャーの役割としての改善課題の整理」	日本福祉大学 社会福祉学部 教授 平野 隆之
15:30~17:00	5時限 ◇ステップ5 「復興期を視野に入れた組織内マネジメント」 ◇ステップ6 「阪神・淡路大震災の教訓に学ぶ 災害公営住宅の移行支援」	宝塚市社会福祉協議会 事務局長 佐藤 寿一

**10月7日(月) 石巻会場 研修日程**  
**石巻市ささえあい総括センター 会議室**

【講義と演習】

時 間	内 容	講 師
9:30～9:35	開会・あいさつ・オリエンテーション	
9:35～10:00	行政説明 「復興期に向けた支援体制」	宮城県 社会福祉課 長寿社会政策課
10:00～10:40	1 時限 「サポートセンターや生活支援相談員等の 現状と今後の役割」	日本福祉大学 社会福祉学部 教授 平野隆之  宝塚市社会福祉協議会 事務局長 佐藤寿一
10:50～12:20	2 時限 ◇ステップ1 「マネジメント業務の振り返りと スーパービジョン機能」  ◇ステップ2 「マネージャーの役割としての改善課題の整理」	
12:20～13:10	昼食・休憩	
13:10～14:00	3 時限 ◇ステップ3 「復興期を視野に入れた組織内マネジメント」	日本福祉大学 社会福祉学部 教授 平野隆之 宝塚市社会福祉協議会 事務局長 佐藤寿一
14:00～16:10	4 時限 ◇ステップ4 「業務としてのスーパーバイザー」  5 時限 ◇ステップ5 「つなぐ支援を念頭においた スーパーバイザーの役割」	白百合女子大学 人間学部 教授 大坂純
16:20～17:00	6 時限 ◇ステップ6 「阪神・淡路大震災の教訓に学ぶ 災害公営住宅の移行支援」	宝塚市社会福祉協議会 事務局長 佐藤寿一

平成 26 年 1 月 20 日

関 係 各 位

宮城県サポートセンター支援事務所  
所 長 鈴木 守幸  
(印 章 省 略)

平成 25 年度 宮城県被災者支援従事者研修について（ご案内）

本事務所の運営につきましては、日頃より格別の御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

今回、「平成 25 年度 宮城県被災者支援従事者研修 仮設住宅等から災害公営住宅への移行対策研修」を開催する運びとなりました。

本研修は、仮設住宅や借り上げ賃貸住宅(みなし仮設住宅)から災害公営住宅に転居するにあたり課題や留意すべき点などを先進事例から学ぶことにより、災害公営住宅への転居が始まる時期の支援を身につけることを目的としております。

また、今年度の研修事業につきましては、当センターの協力団体である特定非営利活動法人 全国コミュニティライフサポートセンターが宮城県より事業委託を受け、運営を担当しております。

別紙「開催要綱」等にて詳細をご確認のうえ、「受講申込書」「事前資料」に必要な事項をご記入いただき、下記宛にお申込みをお願い申し上げます。

#### 記

- 1 申込先:特定非営利活動法人 全国コミュニティライフサポートセンター(CLC)  
F A X : 022-727-8737 E-mail : clc@clc-japan.com
- 2 申込締切 : 1)名 取 会 場 2月 21 日(金)  
2)気仙沼会場 2月 21 日(金)  
3)石巻会場①② 2月 28 日(金)

全国コミュニティライフサポートセンター (CLC) 仙台市青葉区木町 16-30 シンエイ木町ビル 1F 電 話 : 022-727-8730 担 当 : 高木、伊藤、永坂
---



## 平成25年度 宮城県被災者支援従事者研修 開催要綱

1. 研修名称 平成25年度 宮城県被災者支援従事者研修  
仮設住宅等から災害公営住宅への移行対策研修
2. 趣 旨 今後、災害公営住宅の建設に伴い、仮設住宅や借り上げ賃貸住宅(みなし仮設住宅)からの転居が本格化するにあたり、移転先で新たな生活を始める被災者の不安や入居者を受け入れる地域では今後の支援課題が表面化していく事が予想される。  
本研修では、災害公営住宅に移行するにあたり課題や留意すべき点などを先進事例から学ぶことにより、災害公営住宅への転居が始まる時期の支援を身に付ける事を目的に開催する。
3. 主 催 宮城県サポートセンター支援事務所
4. 運 営 特定非営利活動法人 全国コミュニティライフサポートセンター (CLC)
5. 開催日程 **■名取会場 平成26年 2月27日(木)～28日(金)**  
仙台法務局 名取出張所 3階  
〒981-1224 宮城県名取市増田児柳田 570-2  
TEL : 022-383-6238  
**■気仙沼会場 平成26年 3月3日(月)～4日(火)**  
気仙沼保健福祉事務所(気仙沼保健所) 2階 大・小会議室  
〒988-0066 宮城県気仙沼市東新城3丁目3-3  
TEL : 0226-22-6661  
**■石巻会場① 平成26年 3月12日(水)～13日(木)**  
**■石巻会場② 平成26年 3月24日(月)～25日(火)**  
石巻市ささえあい総括センター 会議室  
〒986-0017 宮城県石巻市不動町2丁目18番  
TEL : 0225-23-3911
6. 対 象 サポートセンター職員、市町村職員、社会福祉協議会職員  
生活支援相談員、生活相談員(LSA)、復興支援コーディネーター  
地域包括支援センター職員、民生委員  
仮設住宅(みなし仮設含む)支援に従事するNPO職員等
7. 定 員 80人  
※定員以上の申込を頂いた場合、申し訳ございませんが、サポートセンター職員、生活支援相談員等、被災者支援業務で雇用された方を優先させていただきます。ご了承ください。
8. 参加申込
  - 1) 参加費 無料
  - 2) 申込期限 ①名取会場 2月21日(金)  
②気仙沼会場 2月21日(金)  
③石巻会場①② 2月28日(金)
  - 3) 申込方法 別紙参加申込書をご記入の上、お申込みください。
9. お問い合わせ  
特定非営利活動法人 全国コミュニティライフサポートセンター (CLC)  
TEL : 022-727-8730 E-Mail : clc@clc-japan.com (担当 : 高木、伊藤、永坂)

## 平成25年度 宮城県被災者支援従事者研修 仮設住宅等から災害公営住宅への移行対策研修 研修内容

ねらい

仮設住宅や借り上げ賃貸住宅(みなし仮設住宅)から災害公営住宅に転居するにあたり課題や留意すべき点などを先進事例から学ぶことにより、災害公営住宅への転居が始まる時期の支援を身につけることを目的とする。

### 【第1日目】講義と演習

時 間	内 容
9:30~9:45	研修のねらい、各種制度の理解
9:45~12:00	1 限目 単元1 「生活と支援活動の移り変わり」 ねらい1   これまで活動を振り返り、その経験を災害公営住宅支援に生かしましょう ねらい2   災害公営住宅への移転期の暮らしと支援の変化を学びましょう
13:00~14:15	2 限目 単元2 「災害公営住宅への転居と支援の方法」 ねらい1   仮設住宅から転居が始まる時期の支援を学びましょう ねらい2   仮設住宅を閉鎖する時期の住民支援を学びましょう
14:30~15:45	3 限目 単元3 「地域での受け入れ姿勢をつくる支援の方法」 ねらい1   災害公営住宅など仮設から住民を受け入れる地域の役割を学びましょう ねらい2   仮設からの住民を受け入れる地域への働きかけを学びましょう
15:45~16:15	4 限目 単元4 「地域資源を発見する・つなぐ・つくる支援の方法」 ねらい1   地域資源を発見・つなぐ・つくる支援の意義を学びましょう ねらい2   地域資源を発見する方法を学びましょう
16:15~16:30	まとめ ふりかえり

### 【第2日目】講義と演習

時 間	内 容
9:45~12:00	1 限目 単元5 住民の見守り・支え合いをすすめる支援と実際 ねらい1   住民による見守り・支え合いの意義と方法を学びましょう ねらい2   住民による見守り・支え合いと専門職との連携を学びましょう
13:00~15:00	事例検討・まとめ

※1. 演習等のプログラムにおいては、休憩を適時とらせていただきます。

※2. 時間配分については、若干変更する場合がありますのでご了承ください。